

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：北部拠点政策幹
担当名：北部地域拠点調整担当
内線：2138 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P11	北部地域振興交流拠点基本構想策定事業			一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	北部地域振興交流拠点整備推進費		
事業期間	令和 6年度	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	8, 9, 11, 16
						分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	8-3, 9-2, 11-7, 16
1 事業概要 北部地域振興交流拠点(以下「北部拠点」)については、これまで検討されてきた産業振興機能に加えて、DXを前提とした「県民にとってより便利で、職員にとって働きやすい未来の県庁」を目に見える形にするほか、点在する地域機関を集約する先行モデルとして整備する方針が示されている。 このため、産業労働部など関係部局や地元熊谷市と調整しながら、必要な機能や所要面積、整備手法等の検討を行い、北部拠点全体の機能やコンセプト等について基本構想を策定する。 北部地域振興交流拠点基本構想策定事業 契約差金による減 △1,237千円				5 事業説明 (1) 事業内容 北部地域の産業振興や交流の活性化を図るため、熊谷市と連携して整備を進める北部地域振興交流拠点について、施設のコンセプトや機能など以下の事項を検討し、基本構想を策定する。 ア 北部拠点のコンセプトや必要な機能 イ 施設の耐震性能や環境性能、災害等への対応 ウ DXを前提とした「未来の県庁の先行モデル」の在り方 エ 施設整備や管理に係る官民連携事業手法 オ 事業参画意向に関するサウンディング調査 など (2) 事業計画 令和6年度 基本構想策定 令和7年度以降 基本計画の検討・策定など、整備に向けた関係者等との調整 (3) 事業効果 関係者が共有する具体的なビジョンである基本構想の策定により、北部拠点の施設整備の計画的かつ円滑な推進を図る。 【活動指標(アウトプット)】 基本構想の策定 【成果指標(アウトカム)】 北部拠点の早期完成に向けた整備の円滑化(加速) (4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 基本構想の策定にあたっては、サウンディング調査等により民間事業者等からの提案を広く募る。 また、地元熊谷市と連携し、より県民にとって便利な施設となるよう検討を行う。 (5) 補正予算の概要 契約差金による減						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5.0人=47,500千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額	
決定額	△1,237							△1,237	18,611	
現計額	19,848							19,848		

事業内訳書

事業名	北部地域振興交流拠点基本構想策定事業		
単位事業名	北部地域振興交流拠点基本構想策定事業	予算額	△ 1,237千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,237	—	
合計	△1,237	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△1,237	—	契約差金が生じたことによる減
合計	△1,237	—	